

社会資本総合整備計画

事後評価書

令和05年05月29日

計画の名称	憩い、交流、賑わいに繋がる公園整備													
計画の期間	令和03年度～令和04年度(2年間)										重点配分対象の該当	○		
交付対象	津市													
計画の目標	広大な広場や周辺の自然環境を活かし、広域的な誘客、利用者層の拡大を図り、一年を通じた賑わいの創出によって地域観光の拠点となる公園を目指すため、公募設置管理制度を活用して公園施設の整備を行い、公園利用者の利便性向上を図る。													
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)		153	A	153	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		市による整備額		制度活用による整備額
1	公募設置管理制度活用により、市が整備する場合と比較し、費用負担を17百万円軽減する。			
	公園整備に係る整備額(市の負担額)	170百万円	百万円	153百万円

備考等	個別施設計画を含む	－	国土強靱化を含む	－	定住自立圏を含む	－	連携中枢都市圏を含む	－	流域水循環計画を含む	－	地域再生計画を含む	－	避難確保計画の策定		避難行動要支援者名簿の提供	

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
都市公園・緑地等事業	A12-001	公園	一般	津市	直接	津市	－	－	官民連携賑わい拠点創出事業（中勢グリーンパーク）	公園施設（園路広場、修景施設、休養施設、遊戯施設、便益施設、管理施設）整備	津市	■	■				153		－
											小計						153		
											合計						153		

事後評価	
○事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
目標の達成状況やその要因を確認・とりまとめを行い、事後評価を実施	交付期間終了後
	公表の方法
	ホームページにて公表
○事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	公募設置管理制度の活用により、市が整備する場合と比較し費用負担を17百万円軽減でき、約1.7haを開園し公園利用者の利便性向上が図れた。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
○特記事項（今後の方針等）	

○目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値／実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1			
	最 終 目標値	153百万円	
	最 終 実績値	153百万円	